

上りの凶徒を以て陣付とて目廿八日申を
 して武藏野にありし
 御父一同

江城入

出羽陸奥
諸士乃如磐山形
馳集之軍

武列江戶城より山形への御奉書七月
十三日、山形より江戸へ御返書御覽候
より、度々御奉書の事有り、新と思ふもの

直沖せん懸けん一作し上うををのの佐さの
 加かとと一し山さん形かたににささをを城しろにに中ちゆう下げに
 有あるる方かたにに中ちゆうににすす池い集あつるる處ところの
 條じょう軍ぐんのの評ひやう議ぎよよくくおお合あははれれるる
 乱らん入いるるはは家け原げん公こう卿けいはは子こをを押おし
 進しん軍ぐんああるる處ところにに自みづか作さられるる義ぎ光こう公こう
 もも近ちかににのの者ものととななるる約やく軍ぐんのの佐さはは一いち将しやうとと
 害がいはは乱らんのの中ちゆうににししををししととななるるはは